

蒐集のすゝめ

‘111 酉脍恭介

みなさんは、何か蒐集しているものはありますか？ 切手やらテレホンカードやら一昔前ブレイクしたものもありますが、ここでは僕が蒐集しているあんまりメジャーでない二つを紹介してみようかなと思います。

1.ダムカード

ダムカードはその名のとおりダムが書いてあるカードで、平成19年に国土交通省が期間限定で始めたもので、今も続けて頒布しているカードです。TCGと同サイズのカードの表にはそのダムの写真が掲載されていて、裏面にはダムの詳細データが書かれています。今のところ130箇所ほどのダムでダムカードが頒布されているとのことで、国土交通省のページに行ってみると頒布しているところの一覧を見ることができます。

(参考:<http://www.mlit.go.jp/river/kankyocampaign/shuninkan/damcard.html>)

なんとまあ誰得感溢れるカードですが、物好きもいるわけで「ダムカード」オークションで検索してみると枚数百円から数千円くらいの値段で取引されています。タダで頒布されているのにすごいですね！

今年の夏が始まる頃母親と「あんだ、ダムカードってしってる？」「うんにゃ、しらんわ」「テレビでやってたわよ」「面白そ」的な感じで教えてもらい、始めました。頒布している場所は、基本的にダムの資料館が管理事務所のはずです。上記のURLにのっているPDFに詳細が書いてあるので事前に確認しておくとう便利だと思います。

写真は宮ヶ瀬ダム（神奈川県）のダムカード。



DAM-DATA

所在地：神奈川県相模原市、神奈川県東甲斐郡川町、神奈川県東部郡川町
河川名：相模川水系中瀬川
型式：重力式コンクリートダム
ゲート：高圧スライドゲート×2門
高圧ラジアルゲート×1門
ジェットフローゲート×2門
選取水設備 円形多段式ゲート(5段)
堤高・堤頂長：156.0m・376.0m
総貯水容量：1億9,300万m³
管理者：国土交通省
採掘完了年：1984/2001年
ウェブサイト：<http://www.ktr.mlit.go.jp/sagami/>

ランダム情報

平成18年度のダム周辺の年間利用者数は約181万人。4月～11月の毎週末曜日、毎月第2日曜日、毎月第3日金曜日の午前11時、午後2時に毎秒30m³の観光放水を行っています。また、ダムサイトには「宮ヶ瀬ダム水工エネルギー館」、「インクラインケーブルカー」があり、ダム湖では遊覧船が運航されています。

こだわり技術

堤高156m、堤体積約200万m³の超大型ダム建設を設計施工の合理化と新技術適用で実現し、37ヶ月という短縮期間での堤体打設を可能としました。また、残土で埋め立てた沢(東沢、西沢、及沢)には新たな自然環境の創出を図り、生物の多様な生息空間を確保するビオトープ整備をダムで初めて実施しました。

2.御朱印

御朱印というのは、神社や仏閣に参拝参詣した際に主に社務所・寺務所で捺印してもらうものです。元々はお寺で写経した際、その証として捺印してもらったものが原型となっているとのこと。今は、(このような表現をするのは非常にバチがあたる言い方にはなりますが) 記念スタンプのようなものとして専用の御朱印帳と言うものに捺印してもらい、蒐集される方が多いです。

そんな御朱印ですが、これを蒐集し始めたのが平成21年の3月の三連休。友人と二人で信州旅行をした際に、目的地の一つである諏訪大社で、友人に「こんなものあるけどやってみない?」と誘われて「せっかくだからやってみるか」と捺印してもらったのがきっかけです。かれこれ3年半集め続け70個強。気がつくとも御朱印帳も5冊目(3冊目から神社用とお寺用で分け始めたので、全部のページに押し付けているわけではないですが)になりました。

それぞれの社寺仏閣に対して趣向を凝らした御朱印を押してもらえるので、コレクション的要素は強く集めがいのあるものだと思います。しかしこれを蒐集する場合は幾つか注意しなければならない点があります。1つ目は社務所・寺務所にお手数をかけているという謙遜の心をもってやること。捺印してもらうのにわざわざ硯を取り出して書いてもらった上、捺印という手間のかかる作業で軽く数分はかかるものですので、マナーは大切にしましょう。2つ目はすべての社寺仏閣でやってもらえるわけではないということ。浄土真宗系のお寺(「~本願寺」などが有名)などでは御朱印を実施していない場合があるので事前に調べておくといいでしょう。最後に注意しなければならない点は、本来の目的を忘れないようにすることです。参拝することが本来の目的であって御朱印はついでのものであることを忘れてはいけません。本末転倒な話にならないようにしましょうね。



左図：左から諏訪大社下社秋宮

諏訪大社上社本宮の御朱印

右図：左から深大寺・布多天神社の御朱印

